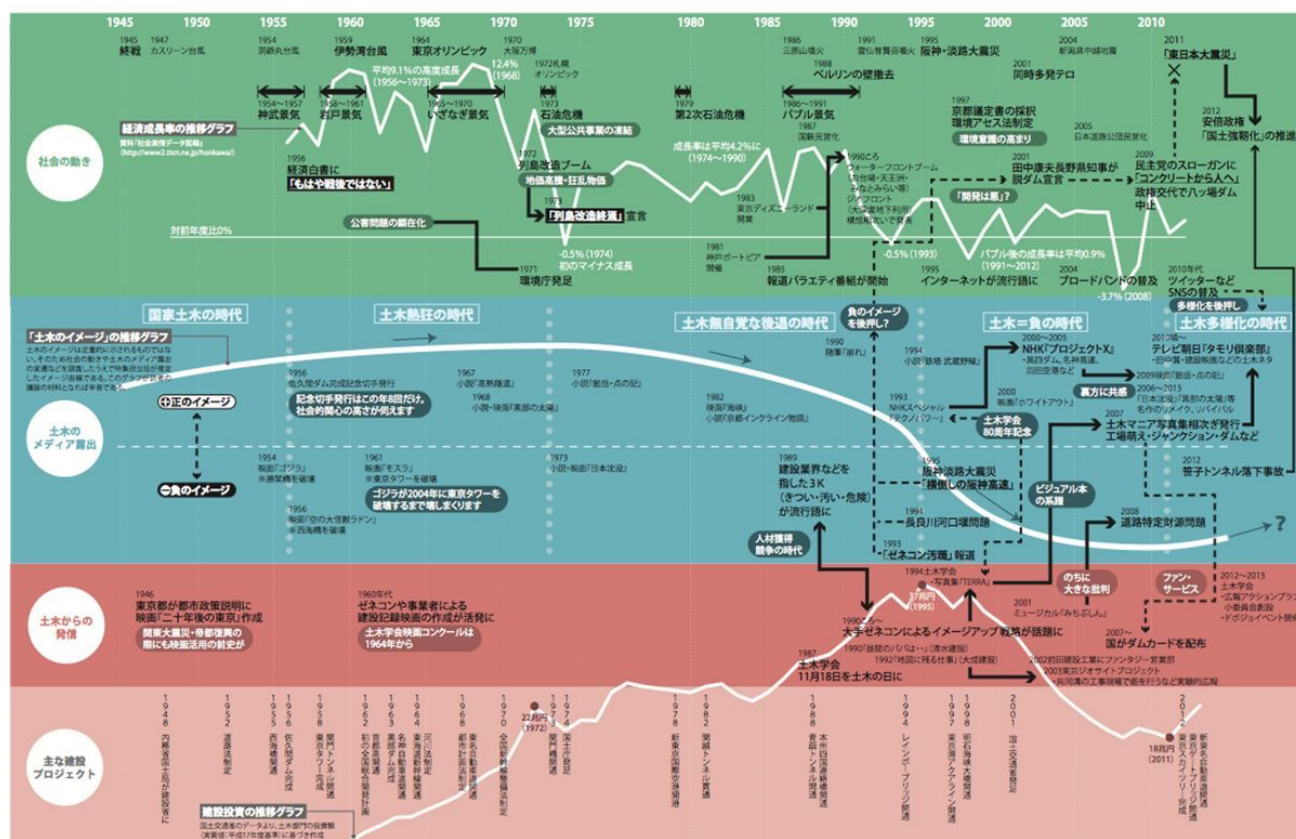


— 橋梁デザインに現れる地域文化 —

千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科 准教授

社会とのパートナーシップ構築を推進する土木のイメージ変遷年表 土木学会誌2014年1月号より

土木のイメージ変遷年表 作成：土木学会誌1月号特集担当班「Team-Media」



一般の方々も土木に
着目するようになってきた

ドボク萌え



ブラタモリ



土木展



．．．

土木の内側からも
多角的に位置づける活動が行われはじめた

土木コレクション HANDS+EYES



どぼくカフェ



オンライン土木博物館：ドボ博



．．．

オランダ在住時に
大量の土木構造物を見て回った

そして、それらの「デザイン」のテイストが
国や地域によって大きく異なることに気がついた



根ざしている**文化**が投影されているのでは

そもそもインフラ施設は、
地理・地形・気候などの
環境条件に起因する地域特有の課題に
個別に対応してつくられている

そこに生まれる「**感動体験**」や「**面白さ**」は
「**鑑賞**」の出発点として十分な価値がある

圧倒的なスケール感やリアリティー
機能優先のダイナミックな造形
大胆さと緻密さの混在

．．．

インフラ施設を『**観光対象**』とすることで
地域の成り立ちを深く知ることができる



インフラツーリズム

インフラストラクチャーは、
文化の中で位置づけられることにより、
はじめて技術的にも機能的にも
完全なものとなる

『鉄道橋のデザインガイド』（鹿島出版会、2013）より
（たぶん）ヨルク・シュライヒの言葉

この話を逆側から見てみよう



本日は「橋のデザイン」から
欧州文化を切り取ってみる
(これが「ドボクで再発見」という試み)

**FRANCE**
第1章 | フランスのドボク

INTRODUCTION

フランスは「文化」へのプライドが極めて高いだけでなく、近代土木技術の概念が生まれた国とも言われている。そのため、ドボクのジャンルにおいても洗練されたかつよさが漂っていて、それは他国の追従を許さないレベルだ。ところが金体的に見ると、個人プレーばかりが目立ってしまい、総合力ではイギリスやドイツに軍配が上がる人が多いようだ。そんなオシャレ方向に突き抜けた個性豊かなフランスドボクの数々を味わおう。

DATA

正式名称	フランス共和国
首都	パリ
面積	551,500km ²
人口	6460万人
言語	フランス語



諸国にまで一歩進出に生きるという情熱的な国民性。見知らぬ人にも愛され、ただし「ボンジュール、ムッシュ/マダム」と挨拶すれば丁寧に対応してくれる。フランス語を話しフランス文化に敬意を払えば人種を問わずフランス人として扱うという寛容な一面もある。



- 1 パリのセーヌ川に架かる橋梁部
- 2-1 ギュスターヴ・フローベール橋
- 2-2 ノルマンディー橋
- 3 ル・アーヴルの近代都市
- 4 ミヨール橋
- 5 ガラビ橋
- 6 フィルミニのユニテ・ダビタシオン

フランスのシャレオツドボク







どうやらフランス人ってのは、
自己愛が強いのに意外と寛容で、
派手な方向に洗練させたがるらしい



ドイツの**かたぶつ**ドボク







どうやらドイツ人ってのは、
まじめで、かたくなで、
合理性を信仰しているらしい



THE NETHERLANDS

第3章 | オランダのドボク



INTRODUCTION

オランダは九州と同じくらいの面積だけど、ほぼ全域が平原地。農り所のない自由な空間が、どこまでも広がっている。そこに暮らす人々は、寛容で合理的で柔軟でケチだと言われている。実は平穏な地形と独特の国民性は密接な関係にある。オランダという国の成り立ちを知れば、そのことが強く実感できるだろう。その手がかりを求めて、オランダのドボクを巡る旅に出よう。

DATA

正式名称	オランダ王国
首都	アムステルダム
面積	37,354km ²
人口	1680万人
言語	公用語はオランダ語。フリース語（フリースランド県） 多くのオランダ人が英語とドイツ語の両方を使う。





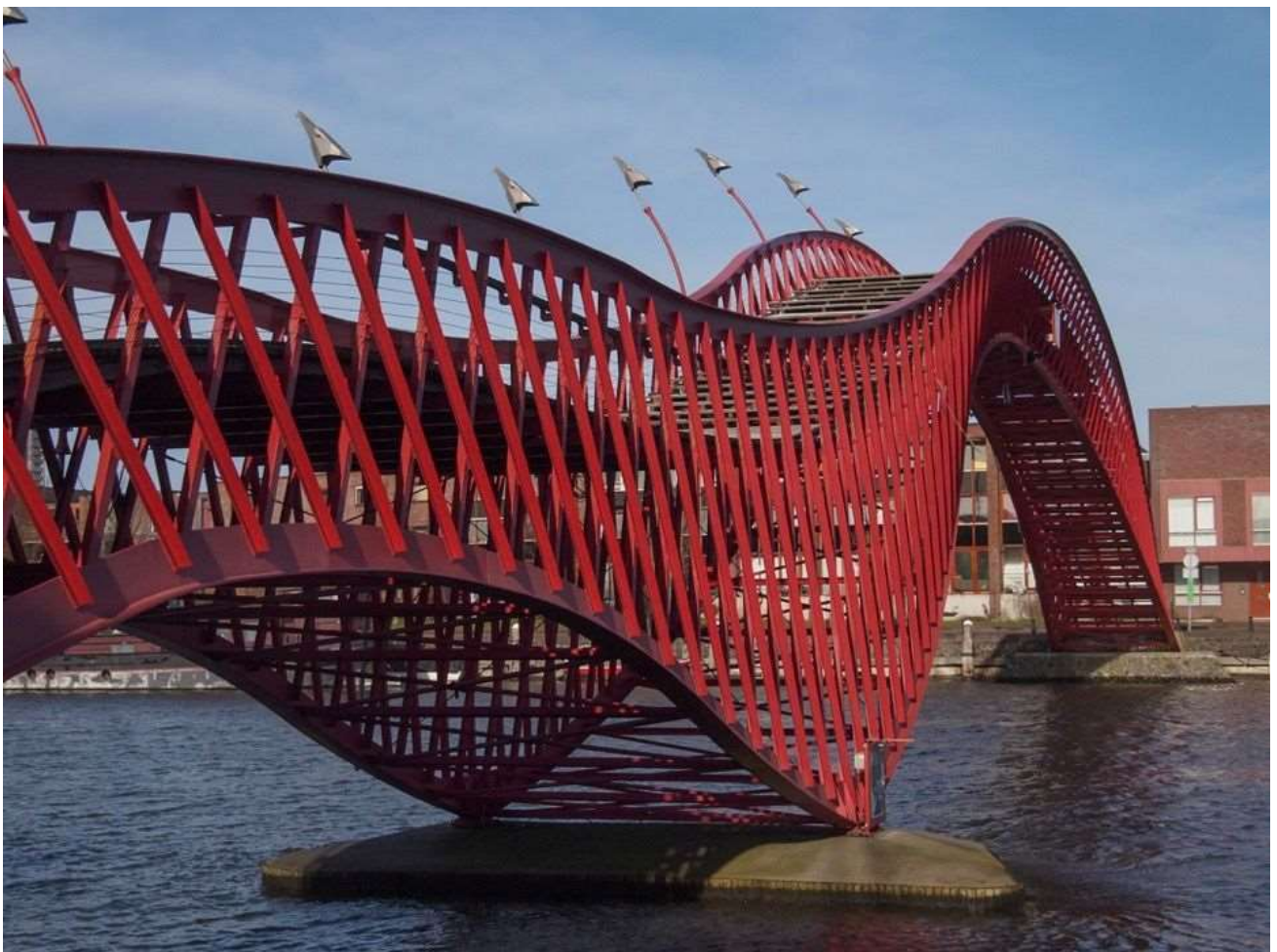
国土の約40%が農業用地未満。食料たちで国を築き出して平穏な国を造ったのがオランダ人の誇り。青の海が国境とも境界。『リッセル・ゴートローグ』（＝旅行案内しよう）は寛容なオランダ人を皮肉ったことば。マリファナも安易でも売買もOKという自由な国でもある。

10 観光地・名所

1	キンデルダイクの風車群
2	ウォーターライン（Bunlar599）
3	スヘーデル
4	スヘーデル
5	スヘーデル
6	スヘーデル
7	スヘーデル
8	スヘーデル
9	スヘーデル
10	スヘーデル

オランダのへんてこドボク





どうやらオランダ人ってのは、
寛容で、おおざっぱで、
コンセプトには素直らしい



BELGIUM

第4章 | ベルギーのドボク



INTRODUCTION

ベルギーの特殊性は、民衆や言語が異なる北のフランドル地方と南のワロン地方に二分され、かつ、絶妙に融合していると言う点だろう。ヨーロッパの道場としての歴史が生き生きと残されている国なのだ。促さどころが難しいという前提で、誰しみやすいがあまり失禮されていない言葉を、ニヤリとしながら体験しよう。それは最もリアリティのあるヨーロッパの姿なのかもしれない。

DATA

正式名称	ベルギー王国		
首都	ブリュッセル		
面積	30,528km ²	人口	1110万人
言語	官用語はオランダ語（北部・フランドル地方）、フランス語（南部・ワロン地方） 英語は主要な公用語、ドイツ語は北部のワロン地方、南西部のワロン地方で話される。		



言語は電報で外国語よりもマイナー。南部はやや難しげだが大抵いい。赤のが読み取れないところがあるため、夢も日本人に言い聞かせる必要がある。フランドル語は南部・ベルギー南部で、アメリカ人の理解から受けた。ワロン語の元。は電報ではほとんど知られていない。

1 アントワープ

2-1 ロンキエール・インクラン

2-2 ストレビ・デュ・リフト

3 アントワープ港

4 マイン

5 リージュ・ギムラン駅

ベルギーのダサカッコいいドボク







どうやらベルギー人ってのは、
いいやつなのに、実直で地味なので、
おいしい目にありつけないらしい



スイスのしたたかドボク







どうやらスイス人ってのは、
まじめで、自律的で、
抜け目ないらしい

橋梁デザイン（設計）は**地域文化**を担っている

日本ではどうですか



自分自身の「**アイデンティティー**」を
探求し続ける姿勢が不可欠

昨年6月、**インフラツーリズム**の
ガイドブックを出版

『ヨーロッパのドボクを見に行こう』

著 者 八馬智
出版社 自由国民社
144ページ・オールカラー

定 価 2,300円
(税込2,484円)

